

教育目標:	○健康で たくましく生きる ○みずから学び 創造する ○心豊かに互いを尊重する
めざす学校像:	○学ぶ喜びが実感できる学校 ○ふれあう喜びに満ちた学校 ○夢を育む学校 (校訓) 師弟同行、夢
めざす生徒像:	超スマート社会 Society5.0に向けて、世界の人々の幸福を願い、主体性を持って生きる人
めざす教師像:	授業実践を通して授業力を高め合える教師、適切な指導ができる教師、組織の一員として協力して職務を遂行できる教師

領域	中期目標	短期目標	具体的方策	努力指標 (中間)	努力指標 (最終)	成果指標 (中間)	成果指標 (最終)	分析コメント	改善策
確かな学力の伸長	学ぶ楽しさ、わかる喜び、学び続けようという意欲を育む授業を工夫し、確かな学力の伸長を図る	●基礎的・基本的な知識及び技能の習得 ●主体的、対話的で深い学びの実現	一、七小と連携しユニバーサルデザインの視点を取り入れた誰もが「わかる」「できる」授業を実現する。	4	4	4	4	9教科の授業において、生徒の88.7%が授業は分かりやすいと回答している。新学習指導要領を見据えての授業改善の成果が少しずつ出てきていると考える。	現状に満足することなく、引き続き「分かる授業」の実現に向けて授業を工夫していく。ユニバーサルデザインの視点については、今年度は不十分である。
			討議、発表など学習形態を工夫し、自分の考えを自分の言葉で表現する場を数多く設ける。	1	4	4	4	自分の考えを発表したり、友達と話し合ったりする活動に積極的に参加することで、考えを深めたり広めることができた生徒は86.6%であった。	コロナ禍の中で、学習形態の工夫は困難をきたしたが、できることを確実に行った結果であり、今後も継続していく必要がある。
豊かな心の育成	人と人とのふれあいを通して、自己肯定感を高め、心豊かに自信をもって生きていく力を育む	●道徳教育の充実 ●二中らしさの継承と深化	特別の教科道徳の趣旨を理解し、「考える道徳」「議論する道徳」の授業を工夫する。	3	4	4	4	グループで話し合う活動を取り入れ考え議論する授業を実践している教師は81.9%→94.7%、生徒は83.2%→87.3%と若干、上昇した。	生徒の意欲的な授業への参加意欲を引き出し、授業の組み立てや発問を工夫していくことで、「考える道徳」「議論する道徳」の実現をさらに進める。
			生徒の活動を通して、二中の伝統を継承・深化させるとともに責任感・協調性・自主自立の精神を育む。	2	4	2	4	生徒の活動を工夫して、主体的に参加できるよう指導した教師は87.5%→100%、参加できた生徒は70%→87.3%と上昇した。	今年度実施できなかった様々な学校行事等、特に二中の伝統を継承し、伝えていく取り組みについては、ICT等の活用を工夫して確実に伝えていく。
体力向上	健康でたくましく生きていく力を育む	●運動の日常化による体力・運動能力の向上	授業や学校行事、部活動等で指導法を工夫し、運動の日常化を図る。	※	※	4	4	部活動や保健体育の授業を通して、自分の体力が向上したと思う生徒は78.4%→86.9%となり、運動が制限されていたにもかかわらず上昇が見られた。	10月の陸上競技会、部活動の試合再開等の影響もあるが、再び緊急事態宣言による運動機会の減少がある中、確実に指導を工夫していく。
特色ある教育活動の推進	特色ある教育活動を推進し、地域から信頼される学校を創造する	●地域に根ざした教育活動の推進 ●小中連携教育の推進	防災教育を中核に据えて、地域と連携した安全・安心な町作りに参加する。	3	4	4	4	中学生は地域の行事等に積極的に参加し、協力していると思うと回答した生徒は74.4%→75.3%であった。昨年までの実績を踏まえての回答と考えられる。	地域との連携事業が実現できていない中、防災マップに関する発表や募金活動を行うなど、今、できることを確実に進めていく。
			二中学区としての目指す子ども像を共有し、教育課程の連続性を踏まえて小中の系統的な教育を推進する。	1	1	2	3	小学校との交流・協力、行事に参加することは大切と考えていると回答している生徒が73.2%→77.8%である。	小中の連携については、教員間で進めていくとともに、情報連携の視点からの活動を見直していく。

※ 今年度、全国体力・運動能力調査未実施のため、評価できませんでした。